

2019年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立四箇郷小学校
作成日	令和2年2月20日

1 教育目標

社会を生き抜く力を備えた子供を育てる

2 学校自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力	安全の確保
指標	学校評価アンケート項目「学校は、学校の教育活動や子どもの様子を保護者にわかりやすく伝えている」⇒『思う方』の回答85%以上	図書室への総来室者数⇒前年度を維持	2019年実施の全国学力・学習状況調査の結果⇒全国平均に近付ける	学校評価アンケート項目「学校は、子どもの安全確保・健康管理のための取り組みを十分行っている」⇒『思う方』の回答85%以上を維持
意す標重 見るに点 対目	・重点目標は適切である。	・重点目標に問題はない。	・重点目標はこれでよい。	・この重点目標は大切である。
意取組 見組状 況に 対す る	・学校のホームページは欠かさず見ているが、興味のない保護者もいるのではないかと。 ・地域との交流の様子をホームページに掲載すればよいのでは。 ・お食事会への出演以外にも地域との交流を学校主体で進められればよい。 ・育生会(PTA)と地域とのかかわりをより密接にできればよい。	・図書ボランティアの活動が続いていることはとてもよいことである。 ・図書室の環境はとてもよい。 ・児童の体験活動のために、地域の方の協力のもと、育生会(PTA)主体で進められている行事はとてもよい。	・算数科の結果がよくなったことはいいことである。 ・県や市と比べて結果が芳しくないことに対して、学校は具体的な手立てを講じなければならない。 ・和歌山市から提供された学習アプリを家庭でも使っていきたい。	・対応マニュアルは、時代の要請や実情に応じて改善していく必要がある。 ・タイムリーな配信は、保護者にとってありがたい。 ・今後は、学校からの情報をパソコンや携帯電話に送ることが主流になるであろう。
る検取 意証組 見結の 果適 に切 対さ すの	・保護者が望んでいる情報について検証し、改善しなければならない。 ・校長は教頭とともに、地域の各種団体へ具体的に依頼していく必要がある。	・児童の体験活動を休日に設定することには限界がある。 ・育生会(PTA)の負担も考えなければならない。	・漢字を定着させるために、指導・学習方法を改善する必要がある。 ・全担任・担当が研究授業することはいいことである。	・保護者の評価は、おおむね良好である。 ・今後も迅速で正確な情報提供をお願いしたい。
改次 善年 方法 に 向 対 け す る の 意 見	・教職員一人一人の意識や考え方にも関係すると考える。 ・学校と地域と保護者をつなぐ学校の担当者の積極的・能動的な活動が必要である。	・本委員会に引き続き図書ボランティア代表の方に入ってもらい、その活動を維持継続していく。 ・教科指導と体験活動を、年間を通してバランスよく配置することが大切である。	・基礎的・基本的な事項について、児童にしっかりと身につけさせてほしい。 ・補充学習について、その目的や方法を学年でそろえてほしい。	・日頃の取り組みが評価の対象となるので、学校全体で取り組んでほしい。 ・校長だけでなく、教頭以下教職員全員の意識と取り組みが大切である。

3 その他のご意見

・育生会(PTA)と地域の協力体制は、地区によって差があるかもしれない。